

計画検討委員会 検討資料

(沖縄の将来の姿のイメージ)

平成27年12月18日
沖縄県

目次

沖縄の将来の姿のイメージ

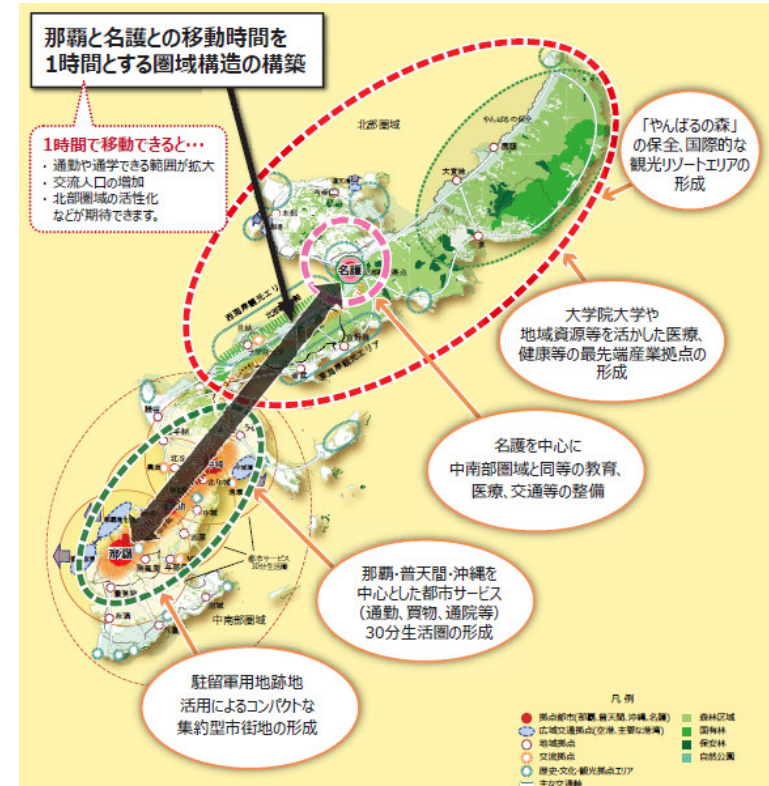
1. 県民意見について . . . 1
2. 沖縄21世紀ビジョン等における将来の姿 . . . 2
3. 将来の姿が実現した場合の私たちの
社会環境と暮らしのイメージ . . . 4

1. 県民意見について

1-1 ステップ2における県民意見の概要

①5月10日から1ヶ月間募集したステップ2の検討事項に関する県民意見において、「沖縄本島の将来の姿」(右図参照)については、多くの県民から、県土の均衡ある発展や観光・経済振興、交通弱者等の移動手段の確保等に期待する意見が寄せられ、一定の情報共有が図られたものと考えている。

②一方、一部の県民からは「具体的な沖縄の将来の姿が見えない」との意見が寄せられた。



おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)P4
「沖縄本島の将来の姿」

1-2 県民意見への対応

「具体的な沖縄の将来の姿が見えない」との意見については、「おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)」で描いた将来の姿が実現した場合の私たちの社会環境や暮らしの具体的な姿をイメージとして示し、県民と情報共有を図っていく。

2. 沖縄21世紀ビジョン等における将来の姿

- ・ 沖縄21世紀ビジョン（平成22年3月）は、県民が望む将来（2030年を目途）の沖縄の姿と、その実現に向けた取組の方向性等を明らかにした基本構想である。
- ・ 同ビジョンでは、沖縄の将来あるべき姿、ありたい姿として「5つの将来像」が示されており、これに基づき、沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成24年5月）では、これら5つの将来像の実現に向けて、36の基本施策が示されている。

沖縄21世紀ビジョンで示されている将来像

将来像
Ⅰ

沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

将来像
Ⅱ

心豊かで、安全・安心に暮らせる島

将来像
Ⅲ

希望と活力にあふれる豊かな島

沖縄21世紀ビジョン基本計画で示されている施策(抜粋)

- ・ 自然環境の保全・再生・適正利用
- ・ 低炭素島しょ社会の実現
- ・ 価値創造のまちづくり
- ・ 人間優先のまちづくり ……など

- ・ 健康・長寿おきなわの推進
- ・ 健康福祉セーフティネットの充実 ……など

- ・ 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
- ・ 世界水準の観光リゾート地の形成
- ・ 情報通信関連産業の高度化・多様化
- ・ 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
- ・ 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
- ・ 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興
- ・ 駐留軍用地跡地の有効利用の推進 ……など

将来像
Ⅳ

世界に開かれた交流と共生の島

- ・ 世界との交流ネットワークの形成 ……など

将来像
Ⅴ

多様な能力を発揮し、未来を拓く島

- ・ 公平な教育機会の享受に向けた環境整備 ……など

- ・ 沖縄21世紀ビジョン基本計画を上位計画とし、そこで示された交通分野に関する基本政策の具体的な構想を示す「沖縄県総合交通体系基本計画」（平成24年6月）では、那覇と北部圏域の中心都市である名護との移動時間を1時間とする圏域構造の構築、下記に示した「沖縄本島の将来の姿」の構築が位置づけられている。

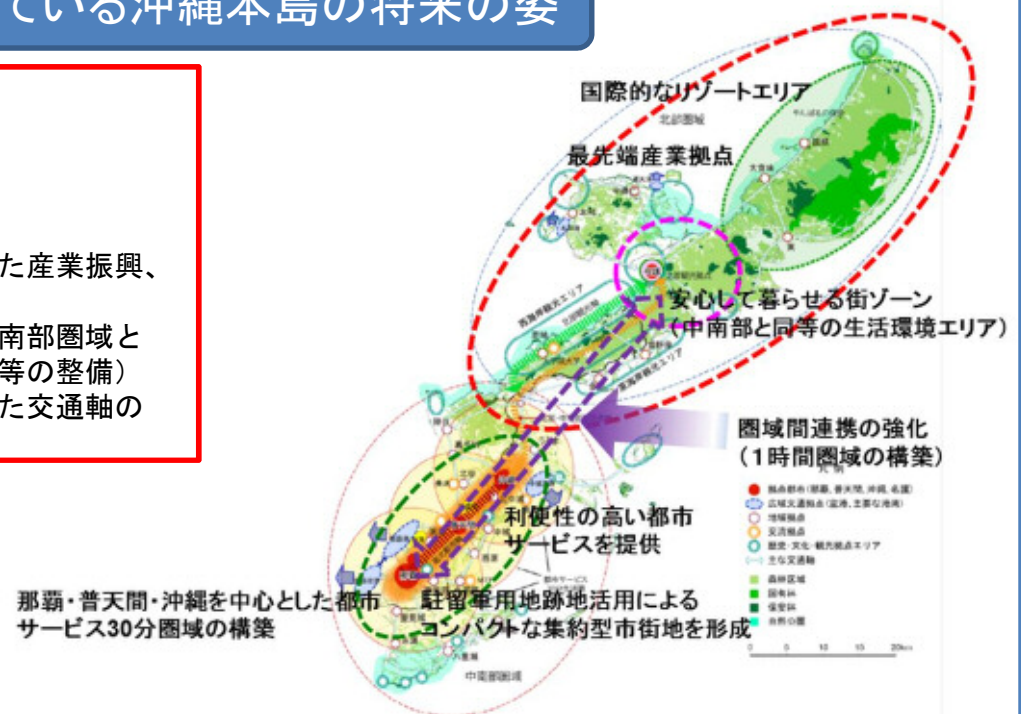
沖縄県総合交通体系基本計画で示されている沖縄本島の将来の姿

北部圏域

1. 自然環境の保全と国際的な観光リゾートエリアの構築
 - 国際的な観光リゾートエリアの形成
 - 観光拠点の形成、結節点の整備
2. 産業振興と生活利便性の向上による北部定住圏の確立
 - 最先端産業拠点の形成や観光産業拠点の充実を通じた産業振興、雇用・定住化促進
 - 名護を中心に安心して暮らせる街ゾーンの形成（中南部圏域と同等の教育、医療、交通、行政サービス、生活基盤等の整備）
 - 中南部圏の高次都市機能を楽しむことができる移動性に優れた交通軸の拡充

中南部圏域

- 那覇・普天間・沖縄を中心とした都市サービス30分生活圏の形成
- 利便性の高い多様な都市サービスの提供
- 駐留軍用地返還跡地を活用し、コンパクトな集約型市街地を形成
- 南北都市軸に移動性に優れた交通インフラを導入



3. 将来の姿が実現した場合の私たちの社会環境や暮らしのイメージ

沖縄21世紀ビジョン基本計画で示されている36の基本施策の中から、「おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)」で示した「沖縄本島の将来の姿」に関連する主な分野を抜粋し、将来の姿が実現した場合の私たちの社会環境や暮らしについてイメージしてみた。

私たちの社会環境(イメージ)

私たちの暮らし(イメージ)

沖縄21世紀ビジョンで示されている将来像

将来像Ⅰ
沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島

将来像Ⅱ
心豊かで、安全・安心に暮らせる島

将来像Ⅲ
希望と活力にあふれる豊かな島

将来像Ⅳ
世界に開かれた交流と共生の島

将来像Ⅴ
多様な能力を発揮し、未来を拓く島

沖縄21世紀ビジョン基本計画で示されている施策(抜粋)

【自然環境の保全・再生・適正利用】

沖縄の豊かな自然環境を劣化させることなく次世代に引き継ぐため、陸域・水辺環境の保全、自然環境の適正利用に努める。

【低炭素島しょ社会の実現】

低炭素都市への転換を推進し、温室効果ガスの排出が少ない地域経済社会を形成する。

【価値創造のまちづくり】

沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、時間とともにその価値が高まる地域づくりを推進する。

【人間優先のまちづくり】

誰もが安全かつ安心して快適に暮らせる質の高い生活環境を実現するため、歩いて暮らせる環境づくりや、人に優しい交通手段の確保に取り組む。

【健康・長寿おきなわの推進】

県民一人ひとりが健康意識を高め、健康で生き生きとした生活習慣の定着を促進する。

【健康福祉セーフティネットの充実】

県民だれもが住み慣れた地域で、健やかに生き生きと安心して暮らせるため、介護・福祉サービスの向上、施設整備の促進、社会参加の促進、医療体制の整備、保健衛生対策等に取り組む。

【自立型経済の構築に向けた基盤の整備】

我が国及びアジア・太平洋地域とともに発展していくため、強しなやかな自立型経済の構築に必要な条件整備を図り、国際的な競争力を強化する。

【世界水準の観光リゾート地の形成】

安全・安心・快適な観光地としての基本的な旅行環境の整備等により、世界に誇れる“沖縄観光ブランド”を確立し、世界的にも広く認知され、評価される観光リゾート地の形成を目指す。

【情報通信関連産業の高度化・多様化】

国内外からの企業立地促進、県内立地企業の高度化・多様化、人材の育成・確保、情報通信基盤の整備等に取り組む。

【科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成】

産学官連携の研究開発成果等を活用して新事業・新産業を創出する国際的な「知的・産業クラスター」の形成を目指す。

【沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出】

沖縄のソフトパワーを積極的に利活用し、競争力のある新産業を創出するとともに、環境関連産業の集積、金融関連産業の高度化等に取り組む。

【亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興】

環境と調和し、かつ経営が維持できる持続的な農林水産業の振興を図るとともに、国際物流ハブ機能を活用し、アジア市場への輸出を推進する。

【駐留軍用地跡地の有効利用の推進】

周辺市街地と連携しつつ、良好な生活環境の確保や新たな産業の振興、交通体系の整備、緑化の推進など魅力ある都市空間の形成を図る。

【世界との交流ネットワークの形成】

国際的な交通ネットワークの拡充等、国際交流拠点としてふさわしい基盤を整備し、多様な交流を積極的に展開する。

【公平な教育機会の享受に向けた環境整備】

地理的、経済的要因等に左右されない教育環境を整備するため、教育に係る負担の軽減や県民のライフステージに応じた学習環境の整備を推進する。

